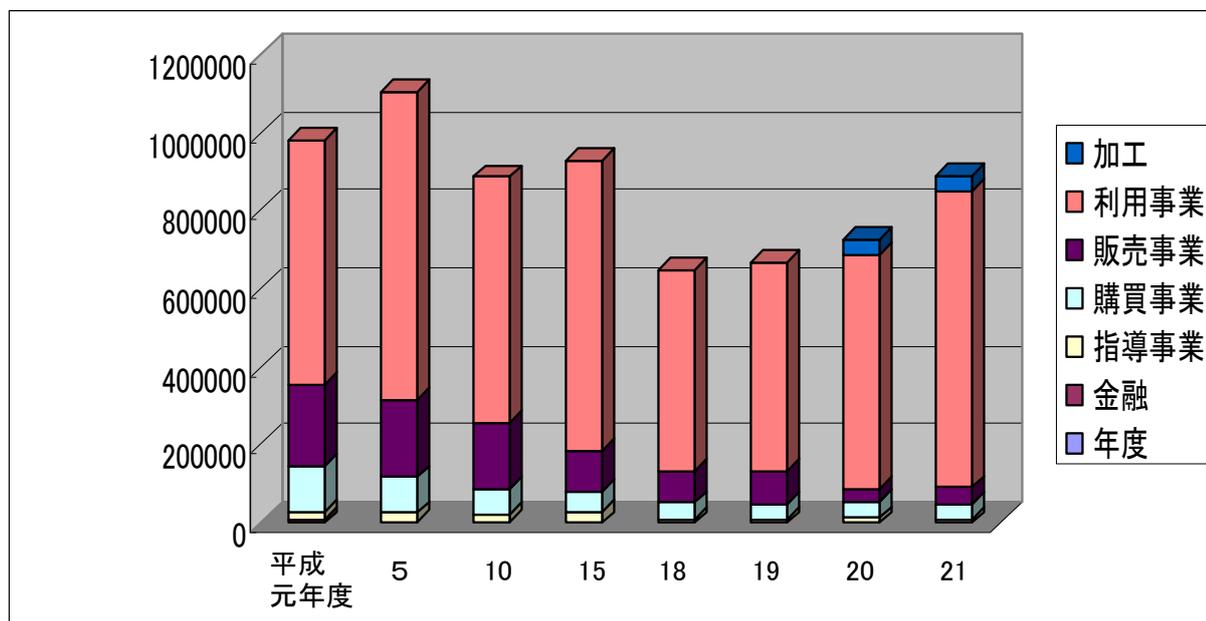


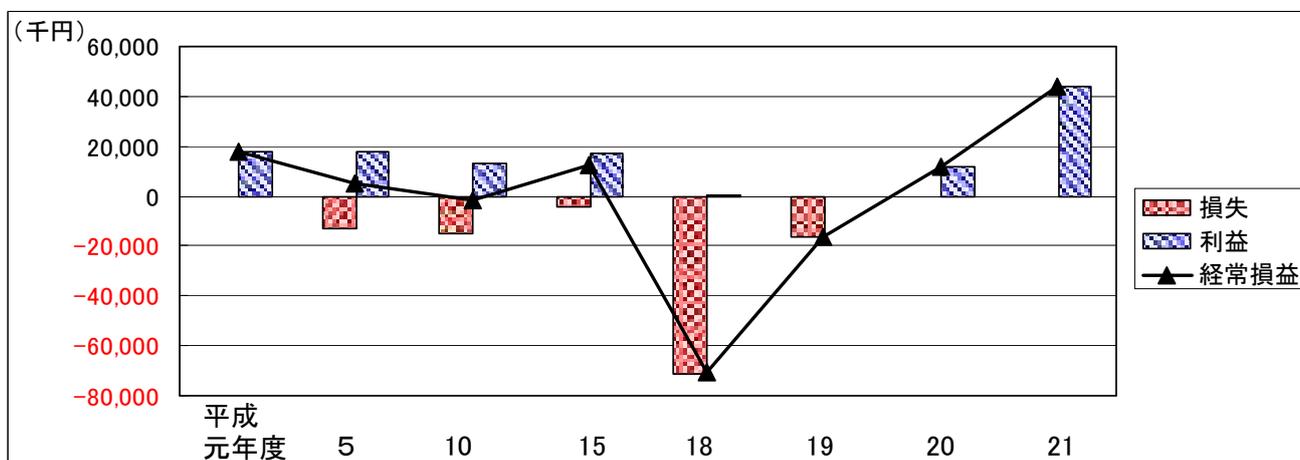
### 3. 林業経営と県営林

#### (1) 森林組合

森林組合主要事業収益の推移



経常利益と経常損失の推移



平成18年11月1日に、千葉市森林組合を除く14組合が合併し、千葉県森林組合が発足したため、県内の活動組合数は2組合となった。平成21年度末における2組合の組合員数は15,544人である。

組合員所有森林面積は34,937haで、民有林面積に占める割合は34%である。また、払込済出資金額は、2組合合計で94,717千円である。

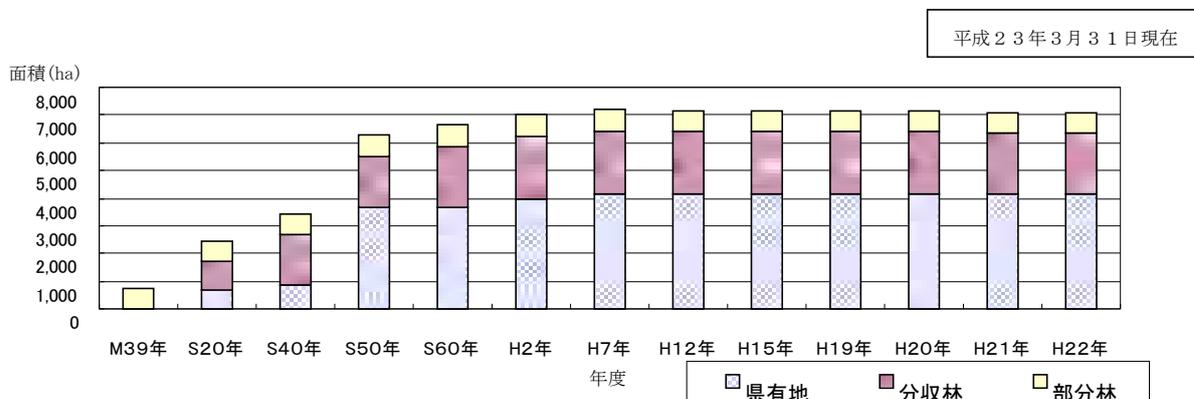
平成21年度事業では、2組合とも経常利益を計上しており、利益額は44,080千円である。

全組合合計で見ると、20年度に比べ利益額が32,535千円増加した。

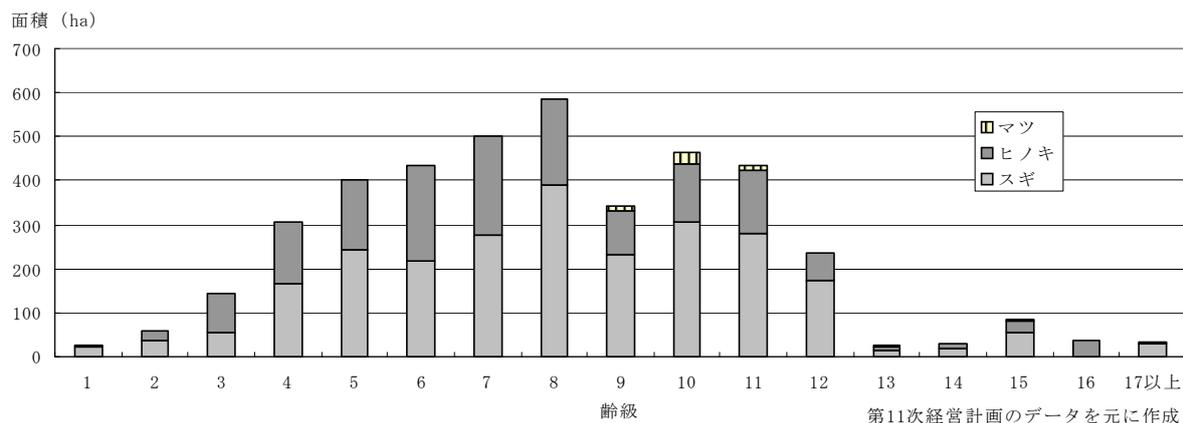
## (2) 県営林

—県営林の整備をさらに推進—

### 県営林面積の推移



### 県営林の齢級別面積



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、平成22年度末の面積は、7,097ha（県有林 4,158ha・分収林 2,202ha・部分林 737ha）で、部分林の契約終了による1.66haの減となっている。

地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,870ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,205ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22haとなっている。

22年度事業で下刈、間伐等の保育事業346haを実施した。また、林産物については、素材 1,865m<sup>3</sup>等を売り払い11,486千円の収入を得た。